



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ



## 「しあわせに生活したい」願いを守る 政治転換の年に 遠藤れい子 年頭のごあいさつ



国民の首を絞める自公政治に負けてなるものか！みんなの力で政治を変えましょう！

あけましておめでとうございませう。戦争のない平和な日本に住んでいることに感謝し、世界から戦争をなくしたいと思います。

格差と分断が広がり、戦争が起ころうとしています。

私は、長年看護師・助産師として、妊産婦や小児・未熟児の看護に携わってききました。無麻酔の帝王切開、保育器に入れない未熟児など、ガザ地区のニュース映像にこころが痛みます。戦争で犠牲になるのは常に子供、女性、一般市民です。戦争は起こしては

### 遠藤れい子の笑顔でファイト

ならない。戦争しないことこそ政治の役割ではないでしょう

22年11月6日の赤旗日曜版が「パー券疑惑」をスクープ！ 23年度の自民党の政党助成金は159億1011万円。日本共産党0円！

「日本を戦争できる国にしない」「憲法9条を守る」「ウクライナにもガサにも平和な社会を」と願う毎日です。傍観するのでなく、自分事として戦争反対をアピールしましょう。

**東京地検特捜部が自民党国会議員を事情聴取**  
赤旗日曜版のスクープが契機となり、自民党の政治資金パーティによる裏金疑惑。東京地検特捜部も捜査に踏み切りました。

時効がからない期間の安倍派だけでも5億円の裏金疑惑。自民党各派閥も戦々恐々との報道。

国民には増税を押し付け、自分たちは税金逃れだけ。「今だけ・金だけ・自分だけ」の自民党政治のひどさ。パーティー券を買う大企業・財界の利益優先、アメリカ言いなりの政治、物価高で苦しむ国民の生活を意に介さない政治で、30年間、日本は成長のない国になってしまいました。

**私の所属する日本共産党は、企業・財界からの献金は受け取りません。もちろん、政党助成金は一切受け取っておりません。**

「政治には金がかかる」を理由に政党助成金の制度が提案されたとき、日本共産党は反対しました。国民の生活にはなく、政党にのみ巨額の税金を注ぐなど、全くひどい不平等な制度です。個人の政治信条の自由の権利を侵害する法律は許せません。

**税金の使い方が間違っています。政治を変えましょう。**

マイナンバーカード、マイナ保険証、青天井に増大する大阪万博の費用、軟弱地盤を無視した米軍辺野古新基地建設の埋め立て工事の強行、米国からの兵器の爆買い、全国の自衛隊基地の強靱化工事など、軍事費には43兆円もの大盤振舞いの岸田政権。法人税は減税し、国民には子ども支援の新たな増税の恐れ？

馬鹿にするな！国民をなめるな！賃金を上げろ！消費税を減税し生活守れ！と声をあげましょう。

**日本共産党は3つの改革で、政治を・社会を・地球環境を前向きに変えます。**

①人間を大事にする『働き方の改革』を行います。政治の責任で「賃上げ」と「待遇改善」を図ります。

②暮らしを支え、格差をただす『税・財政改革』を行います。消費税減税、社会保障の充実、教育費の負担軽減を図ります。

③持続可能な『経済社会への改革』を行います。気候危機打開、エネルギーと食料自給率の向上を図ります。総選挙では、日本共産党の躍進を！

国民に背を向けた自公政治を終わらせて、暮らしに希望が持てる政治にチェンジしましょう。皆さんのご支援をお願いします。



2023年も遠藤れい子と日本共産党に寄せられた声を基に、皆様と力を合わせて様々な課題に取り組みました。引き続きがんばります。

1月 29日、前島町でつどい



2月 1日、スクールバス署名  
1,001筆を教育長に提出



12日、街宣カーで市内各地で宣伝



2月19日、長岡市医師連盟と遠藤れい子は「政策協  
定書」を交わし、21日に「県議会議員選挙候補者  
として最適者と認める「推薦状」を受ける。(要旨)

- \* 2次病院救急輪番体制を堅持し…
- \* 国民皆保険を堅持する
- \* 住み慣れた地域において質の高い医療・介護を受けられるよう…必要な医療を確保する
- \* 医師の過重労働を解消する政策を推進する
- \* 新興感染症の感染拡大で医療崩壊を招かない…

3月2日、県議会定例会で一般質問、22日「令和5年度予算案」に  
3点を指摘し、反対討論を述べる



- 反対の論点①**、新年度の「原発事故に関する3つの検証」作業に不徹底さを残したまま、幕引きを図るのではないかと懸念がある。
- 反対の論点②**、公立公的病院の統廃合と病床削減を推進する「地域医療構想」を政府方針に沿って、むしろ積極的に推進する予算となっていることは承服できない。
- 反対の論点③**、新潟県の子育て支援の対策は不十分と言わざるを得ない。

4月9日 県議選投票日(議席届かず)  
10日朝、日赤病院前で県議選結果を報告  
し、支援への感謝を述べる



遠藤れい子  
2023年  
活動の軌跡

5月1日、  
中越地区  
メーデーに  
参加



25日、副  
市長に  
15回目  
のコロナ  
対策を  
要望



6月18日、太陽光発電を視察



8月1日、鎮魂手向けの花



8/24海洋放出に抗  
議のスタンディング

7月18日、20年ぶりに尾瀬へ 20日、排水口現地視察



11月 2日、新婦人の  
皆さんと「ガザ即時停戦」  
を求めてスタンディング



30日、農水省に出向き、干ばつ  
被害への農家  
支援を  
要請



12月 3日、スクール  
バスの実現を求め、保護  
者の皆さんから要望をお  
聞きする遠藤れい子



10月 25日、共産党  
市議団は、磯田市長に  
2024年度の予算要望  
を行う



9月10日、「特定失踪者と拉致問題を考える市民  
集会」で、中村三奈子さんの早期帰国を求めらるお  
母様の中村クニさんに挨拶する遠藤れい子



24日、なくそテ原発集会で  
デモ行進の先頭に(右先頭)



16日、十日町高校  
同窓会に出席

